「最大の大罪をあなたたちに教えようか？

アブー・バクラ（アッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は３回、こう言った： 「最大の大罪をあなたたちに教えようか？」人びとは言った：「ええ、アッラーの使徒よ。」預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った：「アッラーに対してシルクを犯すこと。そして両親への親不孝である。」それまで寄りかかっていたが、座り直し、そして言った：「そして偽りの言葉である。」アブー・バクラ（アッラーのご満悦あれ）は言った：「もう口を閉
じて下さったらよいのに、と私たちが言うまで、彼は繰り返しそう語り続けました。」 [صحيح] [متفق عليه]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は教友たちに、最大の大罪について伝え、これらの３つのことを述べた： １．アッラーに対するシルク：これはいかなる種類のものであったとしても、崇拝行為をアッラー以外のものに向けることであり、アッラーの神性、主性、美名と属性において、アッラー以外のものをアッラーに並べることである。２．両親への親不孝：言葉や行為による両親に対する害悪であり、彼らによいことをしないことである。 ３．偽りの言葉：噓の証言はその一部であり、つまり財産や尊厳の侵害などによって損害を与えることを意図した、あらゆる噓の言葉のことである。 預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は嘘の言葉に対する警告を繰り返したが、それはその醜さと、社会への悪影響のためだった。教友たちはついに「もう口を閉じて下さったらよいのに」と言ったが、それは預言者の憤りを気遣い、忌避したためであった。

https://sunnah.global/hadeeth/ja/show/2941